

学ぶのは、わたしたちの未来のため

第16期 同友会大学

～ 学ぶとは 誠実を胸に刻むこと 教えるとは 共に希望を語ること ～

(ルイ・アラゴン)



同友会大学“共育”講座の開講にあたって

奈良同友会では、同友会大学を3年おきに開講しています。前回の2019年度は最終盤にコロナ禍がはじまり、誰もが大きな変化を予感しました。あれから3年、中小企業をとりまく環境は従来にも増してダイナミックに、そして多様に変化しています。政治、経済、社会の急激な構造変化に対して、経験則に頼るだけではなく、情勢を科学的、本質的につかみ、自ら考察し、他者と協働を図る力が求められるようになっていきます。

中小企業家同友会では、1993年にこれからめざす企業像として「21世紀型中小企業」を提起しました。そこには、企業自体が存在意義を確立して「自立型中小企業」になること、そして一人ひとりが「自立的」でありながら互いに高めあう共育の組織風土を確立することが示されています。

Think globally, Act locally! 「グローバルに物事を考え、地域的観点で活動する」— 私たち中小企業は、世界を見据えながら、この奈良の地で事業を行い、暮らしを支えています。そんな私たち一人ひとりが「中小企業だからこそできること」「地域で育まれる多様な視点」「なりたい自分を追求する力」を磨くことは、地域の付加価値になっていきます。だからこそ今、共に学びあいましょう。

長丁場ですが、継続して粘り強く学ぶ意義をご理解いただき、多くの企業の方の参加をお待ちしています。



同友会大学“共育”講座の目的

奈良同友会の同友会大学“共育”講座では、

- ① 人間の発達について理解を深め、誰もが持つ可能性と、それを根として主体的に生きる意義を考える。
- ② 社会を知り、視野を広げる。そしてそこで自社や自分が果たせること、生み出せる価値を知る、考える。
- ③ いろいろな考え方や、自分とは別の視野がある事を知り、「互いに違う」から「共に育ち合う」ことを感じる。そしてその経験を通して、「民主的」「共育」の意味を深める。
- ④ 一見解決出来ないと思うことも、会社や立場の枠を超えて連携することで地域や社会の発展、課題解決につながることを知り、地域の中小企業が果たせる役割の広さについて考える。

以上の目的を持ちながら、幅広いテーマについて順を追って学びます。その根底には「人を生かす経営～中小企業における労使関係の見解(通称:労使見解)」が貫かれており、経営に携わる者として必要な資質を問うとともに、「総合的な人間力」を高めあえることをめざしています。

オープニング講義：「学ぶ」とは ～人が社会の中で育つ過程とは・学習権とは

兼 共育オープンセミナー

① 10月27日(木) 於・ミグランス 18:00 開会

「人が育つということ」～ユネスコ学習権宣言と人が育つ環境づくりについて～ (仮)

神戸大学 名誉教授 廣木 克行 氏

【ねらい】

同友会大学のガイダンス的な位置づけ。経営者、社員それぞれの立場で「学ぶとは」を深めます。働くこと、学ぶことは人として保障されるべき人権のひとつであること。そして一人ひとりが豊かな生き方を追い、それを実現する場としての企業・社会のあり方を学びます。本講は地域の一般の方、教育関係者の方も対象として「共育オープンセミナー」を兼ねます。地域の様々な立場の方とともに“共育”について考え、その土壌を広げる取り組みとして位置付けています。

第Ⅰ単元：「わたし」を起点に考える ～人間とは・発達とは・共育とは

② 11月8日(火) 於・奈良県産業会館 18:00 開会

「現代社会における人を取り巻く環境、若者の可能性 (仮)」

愛媛大学 名誉教授 山本 万喜雄 氏

③ 11月21日(月) 於・ミグランス 18:10 開会 (21:10 閉会) 今回のみ10分スライド

「支えあう職場の関係づくり」～コロナ禍における「聴く」という社風づくり～

北海道大学 名誉教授/学校法人共育の森学園 理事長 間宮 正幸 氏

【ねらい】

オープニングで一人ひとりが学ぶことの意義を押さえたのを受けて、第Ⅰ単元は「人が成長・発達するというのはどういうことか」「それを中小企業という舞台で実現していくとはどういうことか」を深めます。

従来の「関わり合いの中での育ちあい」「働くことと人の成長」などのテーマをベースにしなが、「コロナ禍を通して見えた人が育つ条件」「変化する社会環境・行動様式のなかで人との関わりをどう考えるか」なども考えます。受講者は、自分自身の成長・発達を顧みるとともに、社内でメンバーが成長する環境をどうつくっていくのかを深める機会にします。

第Ⅱ単元：「わたしが経営する会社」「わたしが働く会社」を起点に考える ～企業の存在意義・付加価値とは

④ 12月12日(月) 於・奈良県社会福祉総合センター 18:00 開会

「時代の変化にどう向かい合う？」～大転換期に挑む中小企業のか～ (仮)

(株)シケン 代表取締役社長 島 隆寛 氏

(徳島同友会 代表理事)

⑤ 12月23日(金) 於・大和郡山市商工会館まいどホール 18:00 開会

「地域社会の主役は中小企業」～新たな地域経済社会への展望～ (仮)

京都橘大学 教授・京都大学 名誉教授 岡田 知弘 氏

【ねらい】

一人ひとりの「わたし」は、社会で「企業・組織」という船と一緒に乗りあわせています。第Ⅱ単元では、「わたし」が乗る中小企業という船が、どんな経済環境の海に浮かび、波を受けているのか、そしてその中でどんな付加価値を生み、社会の中でどのような役割を果たしているのかを学びます。

企業を内から見る、業界の動向に照らして見る、地域社会の一員として見る……中小企業とはどのような存在で、どこをめざしていくべきなのか、それらを“考えるための視点”を学びます。

第Ⅲ単元：「わたしが暮らす社会」を起点に考える ～ 社会の変化・課題を中小企業の立場で考える

⑥ 2023年1月26日(木) 於・奈良ロイヤルホテル 18:00 開会 兼 新春情勢講演会
「足元の経済から中小企業を取り巻く情勢まで ～自社の展望を描こう(仮)」
大阪経済大学 教授 下山 朗 氏

⑦ 2月6日(月) 於・大和郡山市商工会館まいどホール 18:00 開会
「不安定化する世界情勢と中小企業の平和的繁栄を考える」(仮)
京都橘大学経済学部 准教授 小山 大介 氏

【ねらい】

個人も会社も「社会」という舞台の上にあります。第Ⅲ単元では、社会や情勢の変化が中小企業の経営環境にどのように影響するのかを学びます。また現代の社会が直面する課題に対して、中小企業の立場でどんなことができるかを考えます。さまざまな課題に対して中小企業は、無理にでも対応していかなければならないときもあれば、創造的に解決の道すじをつくっていくべきときもあります。判断し、発想し、実行していく力とともに、「何のためにするのか」という自分の軸を、一緒に学んでつくっていきましょう。

第Ⅳ単元：「わたし」「会社」「社会」を結びつけて、何ができるか考える ～ 一人ひとりが会社や社会をつくる

⑧ 2月20日(月) 於・ミグランス 18:00 開会
「未来の経営を、未来の社会を創る社員の実力(仮)」
京都エレベーター(株) 代表取締役 田中 陽一 氏
(京都同友会 理事)

⑨ 3月6日(月) 於・【12月会場確定】奈良県社会福祉総合センター 18:00 開会
「私たちの経営に、私たちの社会に『労使見解』を生かす(仮)」
岡山トヨタ自動車(株) 代表取締役社長 梶谷 俊介 氏
(岡山同友会常任相談役/中同協社員教育委員長)

【ねらい】

オープニング講座で「学習権」の考え方とともに、一人ひとりの成長・発展こそ、企業や地域の未来をつくることを学びました。第Ⅰ単元では、そのような人の発達がどのような環境で実現するのか、そしてコロナ禍以降の社会のなかで人との関わりはどんな意味を持つのかを考えました。第Ⅱ単元では各自が働く中小企業が社会のなかでどのように存在意義を発揮するのか、第Ⅲ単元では情勢や社会の変化を中小企業の視点でとらえ、考え、行動することの重要性を学びました。

しかし誰もが初めて経験する外部環境に対して「わたしの会社は何ができるのか」「わたしは会社で何ができるか」を考えるということは、簡単なことではありません。第Ⅳ単元では、それを時間をかけながら社風として重ね実現してきた企業の経営者の報告から、「学んで実践」を繰り返しつつ進む道筋を学びあいます。

修了式： 学びあった仲間とともに 誇りを持って言おう「最終学歴は、同友会大学です」

3月下旬を予定しています

出席要件や卒論を経て、修了と認められた受講生に認定証書を授与します。

同友会大学のカリキュラムは、幅広い分野にまたがる全講座を通して、そして一緒に学ぶ他の受講生との交流を通して様々な角度から学ぶことを大切にしています。別紙「受講を希望される方へ」をご確認ください。

カリキュラムに関するお問い合わせは 奈良同友会事務局まで TEL：0742-25-5660 info@nara.doyu.jp

第16期同友会大学“共育”講座のご案内



受講を希望される方へ ~よくお読みください~

- ① カリキュラム構成および課題提出について
 - ▷ 別紙カリキュラムのとおり、オープニング講義と4単元の全9講と、修了式があります。
 - ▷ 各単元の終了時ごとにレポート、全講義の終了後には、卒論があります。
- ② 修了認定について
 - ▷ レポートおよび卒論に未提出がある場合は、修了を認めません。
 - ▷ 修了必要日数は75%以上(9講座のうち7講座以上を受講)とします。
 - ▷ また遅刻・早退は3回で欠席1回に相当するものとします。
 - ▷ 受講態度、姿勢が著しく悪い場合、退学を命ずることもあります。
- ③ 講義の内容に応じて参考文献等がある場合、その費用は原則として受講生負担とします。
- ④ “共育”をめざす講座の趣旨にそって、受講生をグループ編成し、励まし合い、共に学びあう環境をつくります。
- ⑤ 同友会大学“共育”講座の運営は、県内に共育の社風を実現する会社が増えることをめざし共育委員会が担っています。ただし同友会では、参加者は“お客様”ではありません。互いに学びあう環境は参加者同士で創り出すものです。受講生のみなさんも設営等においては、主体的にご協力をお願いします。



受講生募集要項

- ◆ 受講資格：会員企業の経営者・後継者
ならびに経営者の推薦を受けた25歳以上の幹部社員（または幹部社員候補）
- ◆ 講義時間：午後6時～9時 通算9講義（カリキュラム参照）
*遅刻・早退は厳密に記録します。
*感染状況、会場都合などで講義時間が変更となる場合があります。
- ◆ 会 場：会場予約可能時期により、3か月前を目途に確定します。
(募集開始時点で決定している会場は、カリキュラムに表記)
【予定会場リスト】 ① 奈良県社会福祉総合センター（近鉄畷傍御陵前駅 すぐ）
② ミグランス 橿原市役所分庁舎(近鉄大和八木駅 すぐ)
③ 奈良県産業会館（JR 高田駅/近鉄大和高田駅 徒歩5分）
④ やまと郡山城ホール（近鉄郡山駅 徒歩8分）
- ◆ 受講料：35,000円（申込時に下記口座にお振込みください）
【受講料振込先】南都銀行 本店営業部 普通預金 2190752
口座名 奈良県中小企業家同友会
- ◆ 定 員：45名 先着順になります。募集開始後は、お早めにお申し込みください。
- ◆ 申込期限：2022年10月21日（金）
*定員を上回った場合、期限を待たずに締め切らせていただきます。
- ◆ 申込方法：受講申込書（別紙）にご記入の上、FAXまたはメール添付にて下記へ送りください。
なお同友会会員でない社員・役員の申込には、会員経営者の推薦が必要となります。

お申込・問合せ

奈良同友会事務局

TEL 0742(25)5660

FAX 0742(25)5666

メール info@nara.doyu.jp

※ FAXは末尾が「6」です

第16期同友会大学“共育”講座 受講申込書

奈良県中小企業家同友会
共育委員長 殿

2022年 月 日

下記の通り、第16期同友会大学“共育”講座に受講申込みいたします。

< 受講申込者 記入欄 >

フリガナ	同友会大学の受講歴 なし ・ あり (期受講)
氏名	
現在の部署・役職	勤続年数 (2022年10月1日時点) 年 月
勤務中に連絡が取れる連絡先 [連絡先の説明 (本社、〇〇営業所など)] TEL: - - FAX: - - メールアドレス:	
受講したいと思う理由 (本人記入欄)	

< 推薦責任者 記入欄 (会員以外が受講する場合に、会員または経営者が記入してください) >

上記の者について、第16期同友会大学“共育”講座の受講を推薦いたします。
推薦にあたっては、本人の資質向上と人間的な成長に期待を寄せ、応援するとともに
日常業務が受講に差し支えないよう最大限の工夫と配慮、社風づくりを心がけます。

会社名 役職 氏名

推薦理由 (会員または経営者記入欄)

必要事項を記入の上、奈良同友会事務局まで FAX またはメールにてお送りください。

送信先 FAX 0742 (25) 5666 メール info@nara.doyu.jp